



TITLE:

昭和26年度研究報告 業績目録

AUTHOR(S):

CITATION:

昭和26年度研究報告 業績目録. 京都大學結核研究所年報 1952, 3: 23-23

ISSUE DATE:

1952-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/50769>

RIGHT:

研 究 報 告

【所長關係研究報告 (所長 教授 近藤銳矢)】

【業績目録】

- 1) 藤田栄隆：寒性膿の結核菌発育阻止作用に就て……………24
- 2) 大塚哲也：骨関節結核の骨髓像に就て……………37
- 3) 大塚哲也：骨関節結核の病巣廓清術に依る血液学的変化に就て……………42
- 4) 森 益太：骨関節結核病巣廓清術前後の肺所見……………51
- 5) 近藤銳矢・山田憲吾・矢形延壽・森山元一・嶋田三千秋・大石 宏：骨関節結核の病巣廓清術成績……………54
- 6) 林 孝夫：骨関節結核に於ける骨萎縮の実験的研究
第7回結核外科集談会 (昭.26.2)，日本整形外科学会雑誌25巻 (昭.27. 近刊号掲載予定)
- 7) 山田憲吾・林 孝夫・大塚哲也・野島元雄：骨関節結核に於ける骨萎縮の成因に就て
第7回結核外科集談会 (昭.26.2)，整形外科.3巻,1号 (昭.27.1)
- 8) 藤田栄隆：寒性膿の結核菌増殖阻止作用 第7回結核外科集談会 (昭.26.2)
- 9) 森山元一：ストレプトマイシン，パス，テイビオンの結核菌発育抑制作用及び其の相互關係に
就ての実験的研究 第7回結核外科集談会 (昭.26.2) 抗菌物質研究近刊号掲載予定
- 10) 兒玉 得：骨関節結核症による結核菌の生態 整形外科.2巻,1号 (昭.26.2)
- 11) 兒玉 得：結核菌に及ぼすストレプトマイシンの影響特に易染性形の変化に就て
抗菌物質研究.4巻,12号 (昭.26.3)
- 12) 近藤銳矢・山田憲吾：骨関節結核の観血的療法 第24回日本整形外科学会総会宿題報告 (昭.26.4)，
医学.12巻,2号 (昭.27.2)，第23回結核研究会特別講演 (昭.26.10)
- 13) 兒玉 得：骨関節結核症に於ける結核菌の研究捕造 整形外科.2巻,1号 (昭.26.6)
- 14) 近藤銳矢・山田憲吾：骨関節結核の観血的療法に対するストレプトマイシンの必要性に就て
第5回東西合同臨床部会 (昭.26.7) 治療.34巻,7号 (昭.27.7)
- 15) 手島幸三：骨関節結核症に於ける肝臓機能に就て，特に手術に依る影響 第8回結核外科集談会 (昭.26.8)
- 16) 大塚哲也：骨関節結核に対する「スト・マイ」併用病巣廓清術の血液学的影響
第8回結核外科集談会 (昭.26.8)
- 17) 山田憲吾・森 益太：骨関節結核に対する「スト・マイ」併用病巣廓清術が肺所見に及ぼす影響に就て
第8回結核外科集談会 (昭.26.8)
- 18) 森山元一：手術創の結核菌汚染に対する化学療法剤の効果 第8回結核外科集談会 (昭.26.8)
- 19) 大谷 壽：摘出組織切片の結核菌検索に対する検討と簡易迅速証明の提唱
第70回近畿外科学会 (昭.26.11)
- 20) 林 孝夫：骨関節結核症のレ線像とその診断的意義 近畿管内医学研究会 (昭.26.9)
- 21) E. Kondo K. Yamada : Operative Treatment of Bone-Joint Tuberculosis.
ACTA TUBERCULOSEA JAPONICA vol. 1, No. 2 (March 1951.)
- 22) 山田憲吾：整形外科領域に於ける結核菌並びに「アレルギー」の問題 医学春秋.第2輯 (昭.27.3)